

令和8年度 第2回学校運営協議会

日 時：令和8年7月17日（金） 10:20～12:00

場 所：山梨県立ひばりが丘高等学校 視聴覚室

（司会：副校長）

（＊創作授業参観 10:20～11:05）

- ① 開会の言葉（司会）
- ② 学校長あいさつ
- ③ 会長あいさつ
- ④ 学校より
 - ア 令和8年度創作授業について（生徒会）
 - イ 令和8年度総合的な探究の時間について（進路指導）
（ひばりが丘高等学校総探ダイアログ）
- ⑤ 意見交換（進行：会長）
- ⑥ 諸連絡（副校長）
- ⑦ 閉会の言葉（司会）

※ 今後の予定

第3回学校運営協議会 1月29日（金） 10:00～12:00

＊令和8年度第2回学校運営協議会出席予定者

●学校運営協議会委員（順不同）

元ひばりが丘高校校長	内田 大介	様（本会会長）
下宿連合自治会相談役	矢崎 政美	様（本会副会長）
都留文科大学特任教授	佐藤 比呂二	様
富士吉田市立明見中学校校長	長坂 直人	様
富士吉田市立教育研修所所長	林 龍樹	様
富士吉田商工会議所直前会長	加々美琢也	様
富士吉田市社会福祉協議会事務局長	白須 美行	様
ひばりが丘高校PTA会長	白須 祐佳	様
ひばりが丘高校校長	小林 久美	
ひばりが丘高校進路指導主事	坂本 洋子	

●本校関係者（上記の委員を除く）

副校長 教頭 事務長 生徒会主任

令和8年度 第2回学校運営協議会 議事録

日 時：令和8年7月17日（金）10:20～12:00

場 所：山梨県立ひばりが丘高等学校 視聴覚室

（司会 副校長、記録 教頭）

（＊創作授業参観 10:20～11:05）

① 開会の言葉（司会）

② 学校長あいさつ

- ・本日は、ご多用の中、ご出席いただき、先ほどは創作授業を熱心にご見学いただきありがとうございます。うどん部の方では、ありがたいことに社会福祉協議会様にお声がけいただき、吉田のうどん作り体験を開催する予定である。校舎内に地震の爪痕が少し見られるが、大きな被害もなく安全に教育活動が続けられている。文科省のネクストハイスクール構想で、山梨県は4つの事業が採択された。本校は、都留高校を拠点校とする「多様な学び方を実現する学校」の形成事業の協力校となっている。最後に、創作授業について、地域も含め外部の人材を活用し、様々な分野の専門家の方々の指導を受けながら、自分の手で作品を作る喜びを感じる機会となっている。我々教員も新しいことを学ぶことを忘れずに教育に邁進していく。

③ 会長あいさつ

- ・あつという間に夏休み前となり、学校の方では日々会議等で忙しい時期、委員のみなさまには、それぞれ年度の中間の忙しいところ、誠にありがとうございます。今日は、まず授業見学をさせていただいたが、この後の協議では忌憚ないご意見をお願いしたい。

④ 学校より

ア 令和8年度創作授業について（生徒会）

生徒会主任 毎年、夏休み前のこの時期に実施している。創作授業実施の目的について、第1段階として、生徒それぞれが個々で物事を成し遂げる達成感を感じる。第2段階として、みんなで協力して完成させた作品が他者のためになる喜びを感じる。第3段階として、みんなで協力して完成させた作品を地域に役立ててもらえる喜びを感じる。生徒はとても生き生きと活動している。講師の方々も熱心に、生徒に寄り添った指導をしてくださる。ほとんどの講師が地域の方で、そのような方々との交流や関係づくりのよい機会となっている。この行事については、今後も続けていきたいと考えている。

イ 令和8年度総合的な探究の時間について（進路指導）

（ひばりが丘高等学校総探ダイアログ）

進路指導主事 7/20にアイメッセで、県下の高校生が一堂に会し、中学生とその保護者の方や企業の方を対象に各高校の探究的な学

びの成果発表及び学校ガイダンスを行うイベントが開催される。それに先立ち、今日は発表内容を紹介させていただく。本校の探究活動は各年次ごとにテーマをして、地域との繋がりを自己理解を深めるという取り組みを行っている。

1年次は、地域の食文化である吉田のうどんの魅力と課題をテーマにうどん探求を行っている。この活動では、地域に根づく食文化を通して地元の魅力を再発見し、その文化を継承し広めていくことを目的とした。具体的には、文献調査をしたり、うどん店での聞き取り調査の他、お店秘伝の味噌づくりなどの講義も受けたりした。活動の後半に実際にうどんづくりを行い、試食をした。活動の結果、吉田のうどんはコシが強く、お店ごとに異なる味付けや馬肉やキャベツを使った独自の工夫があることが分かった。一方で、後継者不足や原材料の価格高騰といった現代的な課題も明らかになった。

また、それ以外に地域文化や社会との繋がりを学ぶ機会として、フラワーアレンジメント講座や外部講師によるキャリア講座、また、よのなか科の学習にも取り組んだ。よのなか科では、「お金持ちになるには」「AIとロボット」「山梨県ビジネスモデル」などをテーマに社会の仕組みや働き方について学んだ。これらの学習を通して、地域の魅力を積極的に発信し、文化の継承に繋げていくことが地域活性化にとって非常に重要であり、地域や社会との関わりを通して視野を広げることが自分自身の成長に繋がるということを学んだ。

2年次は、富士吉田地域の自然や文化、歴史の魅力をテーマに地域探究を行った。地域の特徴を深く理解し、その魅力を多くの人に伝えるということを目的に活動している。文献調査に加えて、地域に詳しい方々から吉田の御師や雪代などについて歴史講話をしていただくなど、地域資源についての理解を深めた。また、地域の農家の方々と連携しながら野菜作りを行い、じゃがいも・さつまいも・トマト・なす・ラディッシュ・ヤーコンなどを栽培している。種まきから収穫まで体験することで、農業の大変さや収穫の喜びを学ぶと共に、地域の自然環境や農業の重要性について理解を深めた。さらに、学んだ内容を分かりやすく発信するために、富士吉田市やNPO法人かえる舎と連携しながら「ふじよしだカルタ」を制作した。カルタには富士吉田市の自然や歴史、文化に関する情報を盛り込み、A4版の大きなサイズにすることで幼児から高齢者まで楽しみながら学べるよう工夫した（カルタの実物披露）。この活動を通して、地域の自然や歴史、文化は富士吉田市の大きな魅力であり、それらを楽しみながら伝える工夫を行うことで地域への理解や関心を高めることに繋がると考えた。

3・4年次では、自己分析、自己理解を深め、進路選択に生かすことをテーマに自己探究を行っている。自分自身の興味

や適性、価値観を明確にし、将来の進路選択に役立てることを目的としている。自己分析ワークやインタビュー、インターンシップなどの体験活動を通して、自分自身についての理解を深めた。また、外部講師によるキャリア講座やビジネスマナーといった講座も実施している。講座では、就職や進学に向けた心構えや面接の時の受け答え、社会人に求められるマナーについて学んだ。その結果、自分の強みや課題、自分の関心のある分野を整理することができ、将来の進路について具体的な方向性を見出すことができ、働くことの意義や責任について考える機会にもなった。このことから、自己理解を深めることは自分が納得できる進路選択に繋がる重要なステップであると考えている。

このように、本校では、1・2年次に地域の文化や自然、歴史、産業について学び、3・4年次には自分の将来について考える探究活動を行っている。これからも、地域に学ぶことと自分自身について学ぶことの両方を通して、ひばりらしい探究活動を推進していきたいと考えている。

最後に、今年の1月に行われた「ふじよしだカルタ」の成果発表会の様子をご覧ください。（動画の視聴）

以上で報告を終わります。ご清聴ありがとうございました。

⑤ 意見交換（進行：会長）

会長 授業見学、創作授業、探求の発表について各委員の方々から感想等をお願いしたい。最後に私の方でまとめをしたいと思う。

委員① 昨年も見学したが、昨年の生徒と今年の生徒は違って、今日は全員が集中して取り組んでいた。生徒が意欲的に取り組める工夫がされていると感じた。楽しそうな笑顔も見られてとても良かった。

委員② 私も昨年に引き続き2回目の参観だった。生き生きと意欲的に取り組んでいた。先生方のフォローも近くで受けられていて良かった。今、中学生の進路選択の幅も広がり、通信制の割合も増えてきているが、通信制と違って、やはり顔を合わせて取り組みができることの良さや、コミュニケーションの部分で学校教育の中で実際に同じ場所に集うことの意味の大きさを強く感じた。学校の細やかな支援の中で生徒たちが元気そうにのびのびと活動している姿が見られてうれしかった。

委員③ 自分の頃とはまったく違う学校生活を見て、いろいろな考え方を主張できる時代になってきてご苦労が多分にあるのではないかと感じた。また、今日、授業を参観して、社会に出る前に地元への愛着を育む地域教育を、小・中でも行っているわけですが、高校でも続けてもらえていることを大変うれしく感じた。

委員④ 今日は子どもの授業参観のような気分が味わえた。授業では、私自身もやってみたいと思える魅力的な活動が行われていた。大人の自分がやってみたいと思える活動だから、子どもたちも意欲的に取り組めるのだろうと感じた。

会長 最後に私がまとめる必要もないほどのすばらしい感想をありがとうございました。

ました。一点、私の高校時代には「四当五落」と言われ、受験勉強に特化した時代であった。今の生徒たちの方がより多くの体験ができているのではないか。授業を見学させていただいたが、「藍染めの絞り」など見たことはあってもやったことなどなく、実体験の大切さを実感した。生徒たちにはそれぞれすばらしい才能を持っており、それは偏差値は変えられるものではない。AIがどんどん発達していく時代であっても、様々な経験をしている子どもたちが考える力を身につけていくと感じた。いろいろな経験した人は人生を豊かにし、しっかりと人間関係を作り、地域に貢献してくれると、今日の授業を観て思った。学校においては、ぜひ、引き続き生徒の生きる力を育んでいただきたい。最後に、本日は委員のみなさま、本当にありがとうございました。以上で、意見交換を終わります。

- ⑥ 諸連絡（司会）
 - ・ 次回の開催日時について

- ⑦ 閉会の言葉（司会）